

CONTENTS

1 長寿社会を
共に生きる

3 [巻頭インタビュー]

綾戸智恵さん

自分らしい介護で絆を深める

7 CASE 1 < 館ヶ丘団地 >

団地タクシーが運ぶ
高齢者の笑顔

11 CASE 2 < けやき台団地 >

居住者の善意をつないで
支え合いの仕組みをつくる

15 URの取り組み

Part 1 大谷田一丁目団地
生活支援アドバイザーが
地方公共団体と連携して見守りを実施

Part 2 奈良北団地
安心して住み続けるための
住まいとサービスを提供する

Part 3 豊四季台団地
生きがいのために働いて
無理なく、楽しく、地域に貢献

19 復興の最前線 < 岩手県釜石市 >

地域の団結力で早期の再生を実現
「3年目の正月は自宅で」の願いに応える

21 クロスワードパズル&プレゼント

22 URからのお知らせ

近所に住む家族間で生活を
サポートし合える仕組み

UR営業センターに
「高齢者相談窓口」を開設



大谷田一丁目団地 (東京・足立区)
高齢者を見守る生活支援アドバイザー
高齢者の仲間づくり、
健康づくりにも一役



けやき台団地 (東京・立川市)
イベントで“顔が見える関係”づくり
お互いを見守り、
気遣う機運が醸成

長寿社会を共に生きる

ここで紹介するのは高齢者対策ではない。若者から壮年、高齢者まで、すべての世代の住民が、お互いにそれぞれの知恵と力を寄せ合い、支え合う姿である。高齢者にとって住みやすいまちは、誰にとっても住みやすいまちなになる。そこには、理想を理想に終わらせない、住民同士の不断の努力がある。巻頭インタビューは、約10年にわたり母親の介護と向き合いながら、連日のステージをパワフルにこなす歌手の綾戸智恵さんに、家族の介護と、住みやすいまちなの在り方について聞いた。



館ヶ丘団地 (東京・八王子市)
起伏に富んだ敷地を快走!
団地タクシーが
高齢者の外出を支援



表紙は「町田山崎団地」(写真:望月 仁)

季刊「ユアールプレス」
vol.36 (2014年 2月)

発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315
神奈川県横浜市中区本町 6-50-1
横浜アイランドタワー
Tel. 045-650-0892 / Fax.045-650-0889

編集・制作 I&S BBDO
デザイン ボールドグラフィック
印刷 大日本印刷

1-2ページの写真:「館ヶ丘団地」と「けやき台団地」=田中 昌、「大谷田一丁目団地」=中村 晃